

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372600730
事業所名	グループホームゆたか

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	平成15年から続いている「ゆたかまつり」が、今年度は会場を変更し、新たに事業を開始した有料老人ホームで開催された。地域のイベントと開催が重なったため、例年より地域住民の参加が少なかったが、利用者・家族の参加でまつりは盛り上がった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	毎奇数月に運営推進会議を開き、年間6回の開催である。利用者、家族、地域包括支援センター職員、区長、民生委員に加え、複数の地域住民も会議メンバーに名前を連ねている。ホームからの状況報告の後、参加者による熱心な意見交換がある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議の“行政枠”で、地域包括支援センター（東部高齢者相談センター）の担当職員が毎回出席している。担当職員から制度や支援体制の変更等の説明があり、研修案内等が詳細に伝えられている。事故報告等の受付窓口は、30年度に発足した広域連合に変更されている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	日々の家族来訪時に意見や要望の聞き取りを行っているが、年間3回の家族会でより多くの意見収集を図っている。その他でも、ゆたかまつりやクリスマス会等、家族とホームとの接点は多い。年度末(令和2年3月)には、グループホーム協会・全国大会で発表した講演内容を家族にも披露する予定である。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	◎